

**ノーベル賞博士が書いた、目からうろこの健康必読書！**  
**” NO（一酸化窒素）でアンチエイジング ”**  
**～ 血管を強くして心臓を守る！ NOによる「老化防止」のカンタン実践法！ ～**

NO（一酸化窒素）研究の第一人者で、1998年ノーベル医学・生理学賞を受賞した、弊社の米国本社 Herbalife International 社の科学顧問委員会メンバーのルイス・J・イグナロ博士（現米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）医学部薬理学教授）が、30年間にわたる NO 研究の成果をわかりやすく書き記した健康必読書『NOでアンチエイジング（原題：NO More Heart Disease の日本語訳版）』が、日経 BP 企画より出版されましたので、ご紹介いたします。

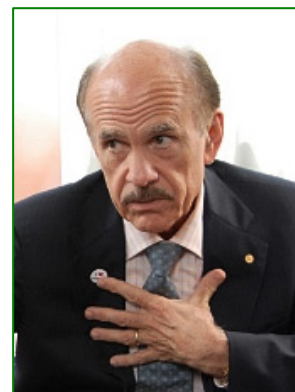
イグナロ博士が30年以上におよぶ研究をもとに著した本書は、NOの知られざる真実やNOが全血管系に影響を及ぼすメカニズムなどをやさしく解説するだけでなく、どうすれば心血管系疾患を予防し、また処方薬を飲まなくても病状を改善できるかまで、わかりやすく教えてくれます。さらには、実践編としてNOの体内産生を強化して心血管系の老化を食い止めるための、誰でも簡単に実践できる「Say Yes to NO プログラム」も紹介しています。

■ 老化防止の実践法 “Say Yes to NO プログラム”

『サプリメント』『食事』『運動』の3つの要素で構成されるこのプログラムは、イグナロ博士も自ら実践しているプログラムで、今年63歳を迎える博士はいまだにフルマラソンを3時間台で完走するほどの健康体を維持しています。このプログラムを実践すれば、心臓発作、梗塞、心血管系疾患を過去の病にするための一歩を踏み出し、老いに負けない健康なからだづくりを始めたことになるのです！



NOでアンチエイジング  
 原題：NO More Heart Disease



著者：ルイス・J・イグナロ博士  
 体内で産生される信号伝達分子のNOが血管拡張物質であり、からだの各部に流れる血流の調整を手助けしていることを発見した功績を認められ、1998年にノーベル医学・生理学賞を受賞。

＜この件に関するお問い合わせ＞

ハーバライフ・オブ・ジャパン（株） コーポレート・コミュニケーション部 担当／太田、高橋  
 〒107-8546 東京都港区赤坂 2-9-11 オリックス赤坂 2 丁目ビル

Tel : 03-5549-0201 / Fax : 03-5549-0388

**ノーベル賞博士が書いた、健康大国アメリカで話題沸騰の必読書！**  
**NO（一酸化窒素）でアンチエイジング**  
**～ 血管を強くして心臓を守る！ NOによる「老化防止」のカンタン実践法！ ～**

■ **NO でアンチエイジング** ～ ノーベル賞博士が書いたやさしい健康の本 ～

著者：ルイス・J・イグナロ／発行：日経BP企画／発売：日経BP出版センター／定価：1,050円

心血管系疾患は世界的に大きな健康問題であり、日本でも増加傾向にあります。食生活の欧米化にともない、脂質の摂取が過剰傾向にある日本人の脂肪摂取量は、第二次世界大戦直後に比べると4倍近くにまで増えています。脂肪の過剰摂取は、心血管系疾患のリスクとなる2大疾患「高血圧症」と「高脂血症」を引き起こし、やがて心筋梗塞や脳卒中などの致命的な疾患を招きます。

これら生活習慣病である心血管系疾患のリスク軽減には、食生活やライフスタイルの改善がもっとも有効ですが、多忙な毎日を送る現代人にとっては、なかなか実現することが難しいのが現状です。さらに、心血管系疾患は中年層以上の人々が罹患する病気という認識はすでに過去のこととなりつつあり、近年では若年層での罹患率も増加傾向にあります。『NOでアンチエイジング』は、NOがこうしたリスクから健康を守るメカニズムと、NOの体内産生を強化するために私たちが簡単にできることをわかりやすく教えてくれる、まさに“目からウロコ”の書です！

■ **NO（一酸化窒素）とは？**

NOは、体内でさまざまな組織の働きをコントロールするメッセンジャーとしての役割を担っており、血管の内側にある筋肉をリラックスさせることで血管を広げ、血流をコントロールする働きや、血管に柔軟性をもたせて血管内壁にコレステロールが蓄積することを防ぐ働きなどがあります。

NOは、運動や食事によって体内で産生されるもので、軽い運動をした後、「ストレス発散になる」「肩こりや腰痛が楽になった」「冷え性が改善した」「疲れがとれた気がする」などを感じるのは、まさにNOの働きに関係しています。運動や食事によって血管内で生成されたNOが有効に働くことで、血流がスムーズになり、からだが必要とする酸素や栄養分を細胞レベルで供給し、溜まった疲労物質や老廃物なども効率よく排出した結果なのです。

30歳を超えるあたりから加齢とともに体内のNOの産生能力は低下してしまい、それがさまざまな障害の一因となります。NOの欠乏は老化とともに起こりがちな深刻な病気や症状の要因となるのです。

※ イグナロ博士監修の日本語NOサイト：[www.no-ig-labo.org](http://www.no-ig-labo.org)

■ **著者プロフィール**

ルイス・J・イグナロ (Louis J. Ignarro)

薬理学博士。ノーベル医学・生理学賞受賞者。1962年、コロンビア大学で薬理学の理学士号、1966年にミネソタ大学で薬理学博士号を取得。これまでに数多くの論文を発表し、心臓血管分野の著しい功績をもたらしたことが評価され、1998年に米国心臓協会から基礎研究賞が贈られる。そして同年、科学の発展に甚大な貢献を続け、NO（一酸化窒素）による生体内でのさまざまな働きを解明したことが評価され、ノーベル医学・生理学賞を受賞。1999年には米国科学アカデミー会員、米国芸術科学アカデミー会員に相次いで選出される。現在、カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA) 医学部薬理学教授。米国サプリメント会社ハーバライフ社の科学顧問委員会メンバーとして、NOの体内産生を強化するサプリメントの開発もおこなう。

## ＜ ハーバライフ・インターナショナル社 会社概要 ＞

ハーバライフ・オブ・ジャパン株式会社の米国本社ハーバライフ・インターナショナル社（カリフォルニア州ロサンゼルス）は、1980年に青年起業家マーク・ヒューズによってカリフォルニアに設立されました。ハーバライフは、“Changing people’s lives－人々の生活向上を実現する”というグローバル・ミッションを掲げ、現在、日本など世界 63 カ国で展開。科学に基づいて開発された、ウエイトロスと健康をサポートするウエイト・マネージメント製品、栄養補助食品（インナー・ニュートリション）、スキンケア・ヘアケア等のパーソナル・ケア製品（アウター・ニュートリション）等、独自で開発した製品を 150 万人以上の独立事業者である世界中のディストリビューターを通じてダイレクト・セリングしています。2004 年 12 月、株式を世界最大の銘柄数を誇るニューヨーク証券取引所（NYSE）に上場。ハーバライフ社 2005 年度の売上高は、約 16 億米ドルに成長しています。

■ ニューヨーク証券取引所（NYSE）上場企業： シンボル＝「HLF」

■ CEO（最高経営責任者）： マイケル・O・ジョンソン

2003 年 4 月就任。ハーバライフ入社以前は、ウォルト・ディズニー・コーポレーションに 17 年間在籍。ディズニー・インターナショナル社社長を歴任。ビジネス構築やグローバル経営、営業指揮、マーケティング、製品革新などの分野で優れた経営手腕を発揮。2004 年 12 月にはハーバライフ社を NYSE に上場させ、社業発展のために日々尽力しています。

■ ハーバライフ科学・医学顧問委員会

高品質製品の提供を第一に考えるハーバライフ社では、製品開発部門で専門家を交えた共同研究をおこなっています。同委員会は、栄養学分野における世界的に権威のある科学者・医師で構成されています。  
＜主な委員会メンバー＞

● デビッド・ヒーバー医学博士（ハーバライフ科学・医学顧問委員会委員長）

カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）医学部および公衆衛生学部教授。UCLA 人間栄養学センター所長、UCLA 植物性栄養補助食品研究センター所長。

● ルイス・イグナロ博士（1998 年ノーベル医学生理学賞受賞、ハーバライフ科学顧問委員会メンバー）  
科学の発展に甚大な貢献を続け、「一酸化窒素（Nitric Oxide: NO）」による生体内でのさまざまな働きを解明したことが評価され、1998 年、ノーベル医学生理学賞を受賞。

■ マーク・ヒューズ細胞分子栄養学研究所

ハーバライフの資金提供により、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）に設立。栄養学を新たなレベルへと発展させることを目的とし、ハーブと栄養学に関する最新の研究と開発技術を駆使したさまざまな研究がおこなわれています。

■ 所属団体

訪販協会世界連盟（WFDSA）をはじめ、世界 37 か国の業界団体に加盟。国際栄養補助食品協会連合（IADSA）創設メンバー、米国栄養評議会（CRN）の理事会議長を務めるなど、積極的な役割を果たしています。

ハーバライフは、世界中の子供たちの援助をおこなう非営利団体“ハーバライフ・ファミリー・ファンデーション”を支援しています。ハーバライフ・ファミリー・ファンデーションは、子供たちの栄養環境を改善する新しい支援プログラム「カーサ・ハーバライフ」を日本を含む世界各国 21 箇所の児童福祉施設で展開しています。

## ＜ ハーバライフ・オブ・ジャパン株式会社 会社概要 ＞

名 称：ハーバライフ・オブ・ジャパン株式会社

所 在 地：〒107-8546 東京都港区赤坂 2-9-11 オリックス赤坂 2 丁目ビル

設 立：1992 年 11 月 25 日

事業内容：ウエイト・マネージメント製品、栄養補助食品、パーソナル・ケア製品の販売

販売方式：ダイレクト・セリング

代 表 者：ウィリアム・ラーン（William Rahn）／代表取締役社長

＜略歴＞ エール大学卒業（日本学文学士号修得）。日本マクドナルド社マーケティング本部長、ユニバーサル・スタジオ、コンシューマー・プロダクト部門代表、ユニバーサル・ピクチャーズ・ジャパン代表取締役、マーベル エンタープライズ ジャパン代表取締役などを歴任。

従 業 員：107 名

所属団体：（社）日本訪問販売協会正会員、日本輸入化粧品協会会員、在日アメリカ商工会議所会員

ハーバライフに関する詳しい情報は、ホームページ [www.herbalife.co.jp](http://www.herbalife.co.jp) をご参照ください。